

日本マイコトキシン学会第79回学術講演会プログラム

日 時：2016年7月29日（金） 9:40～16:30 （開場・受付 9:00～）

場 所：文部科学省研究交流センター （茨城県つくば市竹園 2-20-5）

プログラム

9:40-9:45 開会挨拶

鍋谷浩志（農研機構食品研究部門長）

9:45-10:30 一般講演（O-1～O-3）

座長：田端節子（東京健安研セ）

O-1 高分解能 LC-MS によるトウモロコシ中に含まれるフモニシン C 群の検出

○中川博之¹、高原健太郎²、畑林秀美¹、久城真代¹、松尾洋輔¹

¹農研機構食研、²サーモフィッシャー

O-2 北海道の小麦における T-2 トキシン，HT-2 トキシン産生菌の分布実態

○小澤徹¹、相馬潤¹、栢森美如²、中川博之³、安岡眞二²

¹道総研中央農試、²道総研十勝農試、³農研機構食研

O-3 アフラトキシン生産菌の高感度可視検出法「ジクロロボスーアンモニア(DV-AM)法」の開発

○矢部希見子^{1,2}、畑林秀美²、池羽田晶文²、鄭雅志²、久城真代²

¹福井工大環境情報、²農研機構食研

10:30-10:45 休憩

10:45-11:30 一般講演（O-4～O-5）

座長：木村真（名大院生命農学）

O-4 シリング酸アルキルおよび類縁化合物によるアフラトキシン生産阻害

○古川智宏、飯村九林、木村太一、山本利義、作田庄平

東大院農応生化

- O-5 アフラトキシン生産阻害物質 *cyclo(L-Ala-L-Pro)* の標的分子の同定
○飯村九林¹、古川智宏¹、根岸瑠美²、山本利義¹、鈴木道生¹、作田庄平¹
¹東大院農応生化、²東大分生研
- O-6 *Fusarium fujikuroi* G 系統に見られる FUM21 遺伝子のフモニシン産生能喪失変異の頻度
○須賀晴久¹、船坂美佳¹、Sultana Sharmin²、清水将文²、景山幸二³
¹岐大生命セ、²岐大応生、³岐大流域研セ

11:30-13:00 昼食、幹事会

13:00-13:30 ポスターセッション (P-1~P-12)

- P-1 かび毒産生抑制技術の開発を目指したトリコテセン生合成制御機構の解析
中嶋佑一、塩原拓也、前田一行、棚橋義和、金丸京子、小林哲夫、西内巧、○木村真
名大院生命農学
- P-2 トリコテセン生合成酵素 TRI7 の安定的保存法の条件検討
○島村拓実¹、杉江雄太¹、田中彰²、前田一行³、中嶋佑一³、吉田泰彦^{1,2}、木村真³、
安藤直子^{1,2}
¹東洋大院理工学、²東洋大院工学、³名大院生命農学
- P-3 *Spicellum roseum* の生産する新規 d-type トリコテセンの構造決定
○松井宏介¹、新海航輝²、木村真³、安藤直子^{1,2}
¹東洋大院理工学、²東洋大理工学、³名大院生命農学
- P-4 トリコテセン C-4 位アセチル化/脱アセチル化活性を持つ土壌微生物の探索
○小川雅義¹、松井宏介¹、田中彰²、木村真³、安藤直子^{1,2}
¹東洋大院理工学、²東洋大院工学、³名大院生命農学
- P-5 国産小豆及びいんげんのフザリウム含有実態調査
○漆山哲生、須永恭之、瀬川雅裕、山田友紀子
農水省消安局
- P-6 高感度可視検出法「DV-AM 法」による圃場土壌からのアフラトキシン生産菌の分離
○久城真代¹、畑林秀美¹、鄭雅志¹、矢部希見子^{1,2}
¹農研機構食研、²福井工大環境情報

- P-7 活性炭添加培地によるアフラトキシン産生菌の検出手法改良
○鈴木忠宏
農研機構食研
- P-8 マイコトキシンスクリーニング法における米国チャームサイエンス社の
技術開発
○長谷川敦子
分枝研
- P-9 脂質除去機能をもつ前処理用充填剤を用いた乳児用調製乳中のアフラトキシンの分析
Megan Jack¹、○山下和之²
¹Agilent Technologies USA、²アジレント・テクノロジー（株）
- P-10 イムノアフィニティカラムを用いた穀物及び紅麴米中のシトリニンの分析法の評価
○瓜生華子¹、D. Leeman²、E. Marley²、C. Milligan²
¹アヅマックス、²R-biopharm
- P-11 定量NMR(qNMR)を用いたマイコトキシン標準品の品質保証
○金子有香
和光純薬
- P-12 Application of an aqueous, time-saving, simple, extraction method for multiple mycotoxins.
○Jerry Ding¹、高 瑛里²
¹VICAM A Waters Business、²明新ジャパン

13:30-14:30 特別講演

座長：作田庄平（東大院農応生化）

食品安全とフードチェーン・アプローチ
一色賢司（日本食品分析セ、北大）

14:30-14:40 休憩

14:40-16:20 シンポジウム

「マイコトキシン研究への食品工学的なアプローチ」
座長：長嶋等（農研機構・食品部門）

S-1 エクストルージョンクッキング (Extrusion Cooking)

野口明德 (IRRI, ソディック, 石川県立大)

S-2 交流高電界による果汁の殺菌技術と実用化

植村邦彦 (農研機構食研)

S-3 蛍光指紋によるマイコトキシン汚染の推定

蔦瑞樹 (農研機構食研)

16:20-16:25 次回学術講演会等世話人挨拶

ISMCO2016 実行委員長

第 80 回学術講演会世話人

16:25-16:30 閉会挨拶

第 79 回学術講演会実行委員長 長嶋等 (農研機構・食品部門)

17:30-19:30 懇親会

会場:インカローズ